

# 由利本荘市 議会だより

2017  
平成29年  
10月31日号  
No.50

由利本荘市 議会だより No.50

2017.10.31



発行/由利本荘市議会  
編集/議会報編集特別委員会

〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地  
電話/0184-24-6386 FAX/0184-27-1793  
ホームページ <http://www.city.yuribayashi.jp>

由利本荘市議会



9月定例会

平成28年度決算を認定  
一般会計で31億7100万円の黒字

ここが聞きたい  
一般質問に7人登壇

各常任委員会行政視察  
先進地を訪問 大いに学ぶ

## 【祓川から鳥海山を望む】

これまでジオサイトをシリーズで紹介してきましたが、編集委員任期最後の表紙は鳥海山を核としたジオパーク推進の願いを込め、鳥海山としました。



本荘南中学校 3年  
(町内名 赤沼)  
わたなべ こうや  
渡部 航也 さん

## 未来へのメッセージ

**私**は、将来由利本荘市が人で賑わって、行ってみたい場所になってほしいと思います。

私たちの市は、豊かな自然に恵まれています。山、川、海どれをとっても自慢できるものです。恵まれた自然環境を大事に守り、未来に受け継いでいくことは、他にはない魅力になると思います。

また、あいさつがたくさん飛び交う街になってほしいです。本荘南中学校では小・中合同のあいさつ運動を行っています。元気いっぱいあいさつは、コミュニケーションや人の笑顔を引き出す魔法だと思います。「笑顔で明るい街」に行ってみてほしいませんか。

私は将来、医療の仕事に就き、私たちの市の魅力や笑顔のために貢献していきたいと思っています。



岩谷小学校 6年  
(町内名 大内三川)  
むらかみ ゆか  
村上 優香 さん

## 伝統受け継ぐ「盆踊り」

**私**達の町内では、毎年8月13日に「盆踊り」が公民館前でされます。町内の人達がたくさん集まって、盆踊りを披露したり、かき氷や焼き鳥を食べたり、豪華な大抽選会、最後には、ナイアガラの花火で締めくくります。

盆踊りは、小さい子供達からお年寄りまでの幅広い年代にも、親しまれています。また、子供会で踊った後は、インタビューもあり、夏休みに楽しかったことや好きな食べ物などを知ることができます。私達の町内の盆踊りは輪では踊らず、組ごとに踊ります。その組それぞれ全てに笑って見てくれる人々がいてすごく嬉しいです。

私は、六年生なので、子供会で踊るのは最後でしたが、これからもたくさんの人達が踊って、この盆踊りをいつまでも受け継いでほしいと思います。

## まちの声から



矢島地域 (町内名 山寺)  
すがわら けんいち  
菅原 賢一 さん

### 地域の絆を深めて

年々1年の巡りが早く感じる歳になりました。ようやく春が来たかと思えばすぐに短い夏、そして秋。もうじき雨に白ものが混じり、また本格的な冬がやって来ます。

冬といえばどんよりとした空、毎日降り積もる雪、除雪作業など暗いイメージがありますが、町内では朝から明るい声が飛び交っています。

市街部には流雪溝が整備されており、我が町内会でも毎朝6時から利用しています。「おはよう」「今日えっぺ降ったな」「んだな」朝から隣近所の元気な声が聞かれます。

高齢化が進み、毎日の雪かきも大変になっていきますが、お互い声を掛け合いながら助け合い、夏場以上に地域の絆が生まれているように感じます。

今度の冬も大きな声を出して、皆で元気に乗り切りたいと思っています。

## 編集後記

平成28年2月1日発行の議会だより43号から担当した議会報編集特別委員会も、この記念すべき50号で編集担当を終えることとなりました。

私たち委員が、常に心に持ち実践に取り組んできたのは、いかに市民の皆さま方に、読みやすく、理解しやすい、親しみのある議会だよりを作るかであり、その目的のために、先進地の議会や、新聞社を訪問し勉強を重ねてきたところでもあります。市民の皆さまの評価はかがでたでしょうか。市議会改選後においても、より市民に親しまれる「議会だより」になることを確信し、寄稿などこれまで編集にご協力くださいました多くの方々に対しまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

(三浦秀雄)

### 議会報編集特別委員会

委員長  
副委員長  
委員

高 三 今 村 伊 三  
野 浦 木 野 上 藤 浦  
吉 隆 英 岩 秀  
孝 晃 一 元 亨 夫 雄



平成29年度 一般会計補正予算

25億4518万円を追加  
総額 **489億2792万9千円**

**主なもの**

- 除排雪費  
車両機械等管理費・冬期交通対策費 **4億1990万円**
- 公共土木施設災害復旧費(補助事業)  
河川、道路、橋梁の復旧工事 **10億3100万円**
- 農地等単独災害復旧補助金  
農地、農業用施設等復旧費用に対する補助金 **7600万円**
- 災害復旧事業(補助・単独)  
7月22日からの大雨による被害の応急対応や早期復旧費用 **2億2500万円**

**人事案件**  
人権擁護委員(任期3年)  
菊地 喜世子氏(再任)  
櫻井 茂和氏(再任)  
岩城地域 勝手 西目地域 沼田

**契約締結案件(主なもの)**  
同報系防災行政無線設備屋外拡声子局増設工事請負契約の締結  
1億8576万円で、株式会社有電社秋田営業所と契約

**条例関係**  
集会所施設条例の一部改正  
亀田大町集会所施設の用途廃止に伴い、条例の一部を改正するもの。  
天鷲郷施設条例の一部改正  
史跡保存伝承の里・天鷲村内「白鷺館」の用途廃止に伴い、条例の一部を改正するもの。  
飲料水供給施設設置条例の一部改正  
飲料水供給施設の設置に伴い、条例の一部を改正するもの。

9月定例会で審議した陳情の結果は次のとおりです

また、委員会発案の「意見書」が原案のとおり可決され、関係機関に送付されています。

**採 択**  
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を図るための、2018年度政府予算に係る意見書提出についての陳情(陳情第4号)  
秋田県教職員組合  
執行委員長 櫻田 憂子  
秋田県教職員組合本荘由利支部  
支部長 三浦 春道

**意見書**  
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を図るための、平成30年度政府予算に係る意見書(委員会発案第2号)

**衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
文部科学大臣**

**議員発案**  
全国森林環境税の創設に関する意見書(議員発案第3号)  
森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため全国森林環境税の早期導入を強く求めるもの  
〔提出先〕 衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 総務大臣  
財務大臣 農林水産大臣  
環境大臣 経済産業大臣

**【補正予算】 主なもの**  
一般会計  
笹子地区土砂崩落対策費 7400万円  
水林斎場空調設備改修事業 4千万円  
公園管理費(本荘公園堀浄化施設ろ過ポンプ修繕) 260万円

**特別会計**  
下水道事業特別会計(本荘地区事業から由利地区事業への下水道事業費の組み替えによる) 408万5千円

**【契約締結案件】**  
水林浄化センター電気機械設備改築工事請負契約の締結  
1億9915万2千円で、本荘電気・中村鉄工特定建設工事共同企業体と契約

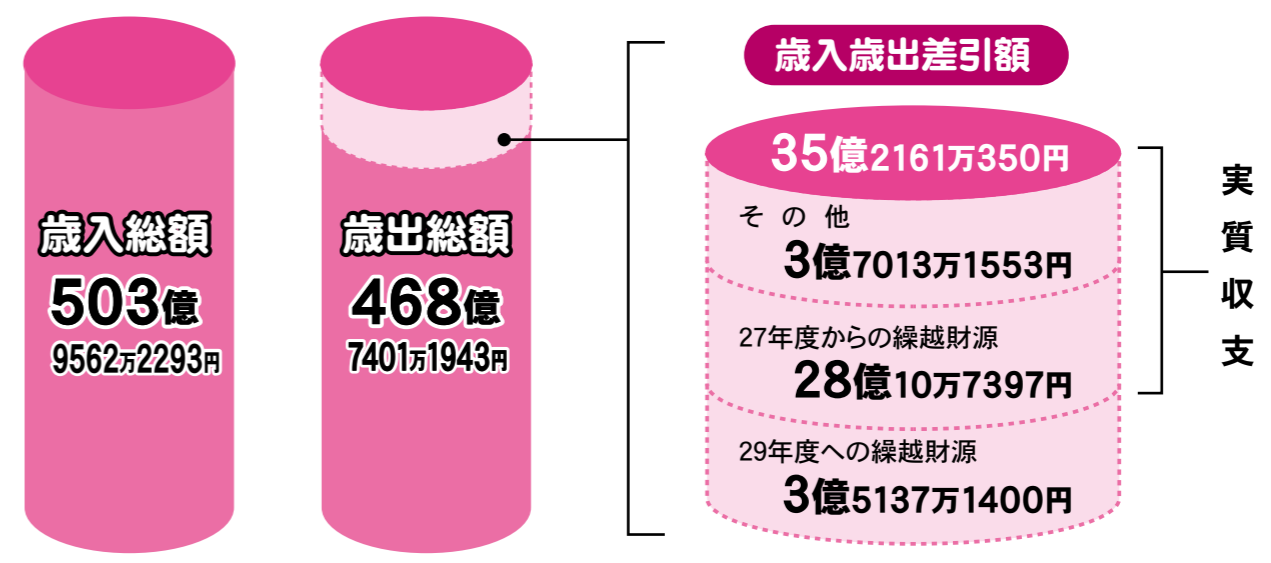
平成28年度決算を認定

9月定例会が、8月28日から9月19日まで23日間の会期で開かれました。

市提出案件は45件で、平成28年度各会計決算の認定、人事案件、条例関係、契約締結、平成29年度補正予算などを審議し、原案のとおり認定、同意、可決したほか、陳情1件を採択しました。また、委員会発案(意見書提出)1件、議員発案(意見書提出)1件を原案のとおり可決しました。一般質問では、2日間にわたって7人の議員が登壇し、市政全般にわたり市当局の考えを質問しました。

平成28年度 一般会計決算

実質収支は **31億7100万円** の黒字



14特別会計の状況

予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
207億1129万円	203億6271万円	196億7340万円	6億8931万円

企業会計の状況

区分	総収益	支出
水道事業	173億1169万円	146億679万円
ガス事業	117億6798万円	99億473万円

市債残高の状況

年度比較	平成28年度	平成27年度
市債残高計	690億8427万円	696億1832万円
市民1人あたり	873,235円	867,172円
当該年度末人口	79,113人	80,282人

市債とは、財源の不足を補うための借金です

# 総務

常任委員会

## コミュニティバスの利用促進を

Q. 市コミュニティバス路線で利用率が下がっているところがあるが、どのように考えているか。

A. コミュニティバスは、交通弱者にとって重要な移動手段である一方、一般的には自家用車の利用が当たり前となっている状況がある。

路線の維持確保のため、

地域住民や関係機関とともに考え、公共交通に対する理解を深めることで利用促進を図り、利用者増加につなげていく。



コミュニティバスを  
利用しましょう

## 通信速度環境維持の考え方

Q. ケーブルテレビのインターネットの速度が遅いと  
言われているが。

A. ケーブルテレビインターネットの利用は、「動画の高品質化」や「ネットゲーム」、「スマートフォンの普及」など、年々利用者の通信量が増加しており、アクセスが集中する時間帯に繋がりにくいとの問い合わせが寄せられている。

これまで、上位回線を増強して対応しているが、9月定例会へ通信機器の設定

変更や上位回線をさらに増強するなど、速度改善に向けての費用を計上し、利用者ニーズに合った運営に努めて参りたい。

設計に要した経費の2分の1が補助されるほか、災害査定額決定後、申請により個別の事業費に応じてかさ上げされた補助率がさらにかさ上げされる（通常の補助率・農業用施設65%・農地50%・奥地林道65%・その他林道50%）などである。



被災の状況（大内地域平嶋地区）

# 教育民生

常任委員会

## 西目幼稚園の民営化計画は順調に進んでいるか

Q. 今後のスケジュールは。

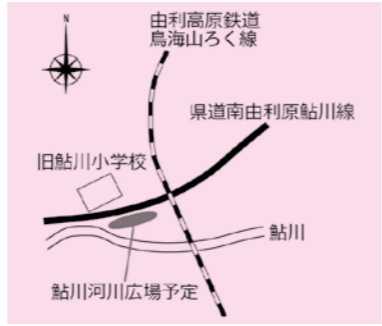
A. 年度内に民間移譲に伴う協定書を締結するほか県私学審議会の審査を受け、来年度より私立幼稚園として運営開始予定であり、同時に認定こども園に向けた移行準備を進めていく。

## 岩城小学校のプールの改修は

Q. 地盤沈下により傾きが確認されたプールの改修予定は。

A. 9月25日より約2カ月の工期で改修予定である。工事の方法は①底板を解体し、傾きを修正する。②側板は、取りつけ金具を修正調整する。③プールとプールサイドとの段差は、モルタルで不陸修正し床材を張りかえる。などがある。

※施工前に表面や床面を平らにする作業



鮎川河川広場予定地の位置図

## 鮎川河川広場

Q. 木のおもちゃ美術館の近くに整備する鮎川河川広場の整備計画は。

A. 鮎川の自然を感じられ誰もが気軽に親水空間を利用できるように整備する。「木のおもちゃ美術館」との相乗効果を図り、およそ

1千平方メートルに砂利やウッドチップを敷き、ベンチを設置する。また、70台分の駐車場の整備も予定している。

## 進む高齢化の状況は

Q. 市内の高齢化率(65歳以上の人口の割合)の状況は。

A. 高齢化率は左の表のとおりであり年々高齢化が進んでいる。

〈地域別高齢化率〉

地域	高齢化率
本庄	30.50%
矢島	40.45%
岩城	38.88%
由利	38.25%
大内	38.11%
東由利	43.39%
西目	34.36%
鳥海	42.05%
市全体	34.42%

(平成29年6月末現在)



〈高齢化率の比較〉

	由利本荘市	秋田県
平成28年7月現在	34.0%	34.6%
平成27年7月現在	33.0%	33.6%

# 産業経済

常任委員会

## 水稲被害への支援は

Q. 大雨で浸冠水した水稲への対応と支援は。

A. いもち防除薬剤散布に10アール当たり6000円の補助金を補正計上している。要望の取りまとめや事務手続は市が行い、JAなどとも情報共有を行い対応する。



被害に遭った水田（大内地域徳沢地区）

## 農業委員会制度の改正・法改正で推進委員は

Q. 農地利用最適化推進委員の会議はあるのか。

A. 推進委員の会議はない。必要に応じて農業委員会総会の案内は行いが、あくまでも傍聴となる。委員には月1回の活動報告書を提出していただき、また「農地等利用最適化推進策に関する要望書の提出」に関しては意見を反映する機会を設けている。

## 移住定住で希望者は何が判断ポイントか

Q. 移住定住相談者の希望や内容はどういったものがあるか。

A. 相談者は、本市出身者や子育て世代が多く、子育てや親の介護の話が出てくる。

移住者の理由の主なものは、「本人または配偶者の出身地だから」33%、「親の介護や家業継承のこと」21%、「ライフスタイルの見直し」12%、「子育て環境」10%である。



移住定住希望者との相談会の様子



登録者の中には「就農希望」も1人いる。

# 建設

委員長 委員会

## 本市の大雨災害について

Q. 7月と8月の大雨における被害状況は。

A. 7月22日からの大雨被害状況は8月25日現在、河川110カ所、道路227カ所、橋梁2カ所、合計339カ所である。  
被害総額は、9億5千万円にのぼる。8月の大雨被害の状況は、調査中である。



大雨による被害状況の現場を調査

## LED防犯灯設置工事の施工行程は

Q. 膨大な数に渡るLED防犯灯設置工事の施工行程は。

A. 岩城・大内・本荘・東由利地域を第1工区、西目・由利・矢島・鳥海地域を第2工区とし、工期は、平成29年8月4日～平成30年3月20日までとしている。工事が冬季にさしかかるため、それぞれ豪雪地域を先行して進めていく。

LED防犯灯で省エネを進めています



防犯灯設置基数と施工順序

工区	地域	設置基数と施工順序	
		設置基数	施工順序
第1工区	本荘	2,921	4
	岩城	13	2
	大内	98	3
	東由利	545	1
	計	3,577	
第2工区	矢島	549	2
	由利	216	3
	西目	686	4
	鳥海	938	1
	計	2,389	

## 砂子下団地の安全対策は

Q. 市営住宅砂子下団地で発生した小学生の転落事故後の安全対策は。

A. 転落した子供は、後遺症もなく、現在元気である。



破損箇所の構造を強固に変更

安全対策は、各階バルコニーへの注意喚起の張り紙と、全戸への注意喚起文書の配付を行った。  
また、破損箇所の構造を変更して強固なものとした。

## 総合防災公園整備特別委員会

### 建設工事の進捗状況は

Q. アリーナ及び屋根付きグラウンドの工事進捗率は。

A. アリーナ建設工事では、屋根工事及び内外装工事の施工中で、進捗率は64.1%である。また、屋根付きグラウンド建設工事では、上部躯体工事を行っており、進捗率は17.8%である。(いずれも8月末時点)  
※構造体のこと



説明を受ける委員



建設中の屋根付きグラウンド内

### 工事に関する影響はない

Q. 長田建設県許可取り消しの影響は。

A. 長田建設株式会社から各共同企業体に脱会願いが出された。これを受けて市に対して、承認願いが出され、9月15日に指名審査調整会議を開催し承認した。  
新たな企業体名称は「アリーナ建設工事」が「佐藤・村岡特定建設工事共同體」、「屋根付きグラウンド建設工事」が「村岡・山科特定建設工事共同體」となった。工事への影響はない。

## 若者によるワークショップ開催

市内の高校生や大学生を対象にした「由利本荘アリーナ若者ワークショップ」が、7月24日、8月17日の2回にわたり、カダーレで開催された。



目を開催し参加者の意見をまとめる予定である。



若者ワークショップの様子

このワークショップは、来年10月オープン予定の「由利本荘アリーナ」への理解を深め、施設の運営や利用に対する意見を聞いてもらうことを目的としている。今後、3回

平成29年7月～9月

## 議会目録

- | 7月 | 4日  | 市議会議員政治倫理審査会                               |
|----|-----|--|
|    | 5日  | 鳥取県境港市議会行政視察来訪                             |
|    | 6日  | 建設常任委員会協議会 議会報編集特別委員会                      |
|    | 19日 | にかほ市・由利本荘市議員交流会                            |
|    | 24日 | 議会運営委員会                                    |
|    | 27日 | 臨時会 教育民生常任委員会協議会 産業経済常任委員会協議会 市議会議員政治倫理審査会 |
| 8月 | 17日 | 議会運営委員会 会派代表者会議                            |
|    | 22日 | 長野県上田市議会行政視察来訪                             |
|    | 25日 | 総合防災公園整備特別委員会協議会                           |
|    | 28日 | 本会議（開会） 議会全員協議会                            |
|    | 30日 | 本会議（一般質問）                                  |
|    | 31日 | 本会議（一般質問） 議会運営委員会 決算審査特別委員会                |
| 9月 | 5日  | 委員会（議案審査） 各常任委員会（決算審査特別委員会）                |
|    | 6日  | 委員会（議案審査） 各常任委員会（決算審査特別委員会）                |
|    | 8日  | 委員会（議案審査） 総合防災公園整備特別委員会（決算審査特別委員会）         |
|    | 12日 | 決算審査特別委員会（主査会議）                            |
|    | 14日 | 決算審査特別委員会（主査報告） 教育民生常任委員会協議会               |
|    | 15日 | 総合防災公園整備特別委員会協議会                           |
|    | 19日 | 本会議（閉会） 議会運営委員会                            |
|    | 28日 | 議会報編集特別委員会                                 |

9月定例会

## 議長公務報告

主なものをお知らせします



- | 7月 | 4日  | 東北市議会議長会理事会（東京都内）                          |
|----|-----|--|
|    | 5日  | 各期成同盟会等合同整備促進大会                            |
|    | 6日  | 秋田県市議会議長会定例会（湯沢市）                          |
|    | 9日  | 由利本荘市消防訓練大会開会式                             |
|    | 11日 | 青少年ハンガリー友好交流訪問団結団式                         |
|    | 31日 | 国道107号整備促進期成同盟会・秋田県国道108号 鳥海ライン整備促進期成同盟会総会 |
| 8月 | 1日  | 東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望（東京都内）                  |
|    | 3日  | 大梁地区国道整備促進協議会総会                            |
|    | 23日 | 秋田県市議会議長会県選出国議員等との意見交換会（東京都内）              |
|    | 27日 | 総合防災訓練（矢島地域）                               |
| 9月 | 9日  | 全国健康福祉祭あきた大会総合開会式 ねんりんピック秋田ソフトボール交流大会開始式   |
|    | 10日 | ねんりんピック秋田剣道交流大会開始式                         |
|    | 11日 | 由利組合総合病院運営委員会                              |

## 議長交際費報告

	7月	8月	9月
慶祝、協賛など	14件 75,900円	7件 23,806円	14件 74,817円
弔事	1件 30,000円	1件 36,200円	1件 30,000円

議長公務・交際費の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。

11月20日（月）

までに受理する  
請願・陳情を審議  
する予定です

12月  
定例会日程  
（予定）

11月30日（木） 本会議（開会）  
12月6日（水）～8日（金） 本会議（一般質問）  
11日（月）～14日（木） 各委員会  
19日（火） 本会議（閉会）

どなたでも傍聴  
できます。傍聴席へは  
5階からどうぞ♪



質問項目

1. ばいんすば新山の指定管理について
2. 本荘清掃センター運転管理業務について



(株)ばいんすば新山、再生・再建なるか

今野 英元  
(会派 社会民主党)

◆第6回株主総会の報告は

**問** 平成29年5月23日に、(株)ばいんすば新山第6回定時株主総会が開催された。短期間に2度の改善指導を受けた後であり、再生・再建の総会だ。

会社からは総会の内容について、どのような報告を受けたのか。

**答** 総会終了後、会社からは「運営体制が一新し、昨年から改善指導を重く受け止め、会社が一体となり、管理運営に努める。」との方針を伺っている。

**問** 総会議事録、取締役会の業務執行監督の強化策などが、市や議会に対して報告されているのか。

**答** 「指定管理者協定書」において、総会議事録の提出や総会討議内容の報告について定めていないので、市、議会に報告はない。

◆設置者である市の責任と指定管理者の執行責任について

**問** 市は公の施設管理を適正に期するため、敏速な措置を講じなければならないが、その体制が整っているのか。

また、(株)ばいんすば新山の指定管理者としての基本的資質、業務執行責任、取締役会の執行監督等は機能しているのか。

**答** 5月の株主総会で運営体制が一新となり「会社が一体となり、適切な施設の管理運営に努める。」との方針を伺っている。



ばいんすば新山

質問項目

1. 集中豪雨災害について
2. 第三セクター経営状況について
3. 公設デイサービスセンターの民間移行について
4. ケーブルテレビについて



集中豪雨災害について

伊藤 順男  
(会派 高志会)

◆集中豪雨災害について

**問** 「50年に一度といわれる集中豪雨」から1カ月余となった、初動体制とその評価については。

**答** 今回の豪雨は、これまで経験したことのない急激な水位上昇であり、小栗山観測所で午後8時に時間雨量100ミリを発生させ、氾濫を引き起こした。このことを避難発令基準の教訓とし今後の災害対策に生かしたい。

◆集中豪雨時の小羽広ダム管理状況について

**問** ダム放流による下流への影響はなかったか。

**答** 今回の洪水時のゲート操作は、最大流入時においても約10%の放流量で調整しており、ダム放流による下流域への影響はなかったと認識している。

◆生活路線の道路復旧が急務

**問** 羽広字軽井沢地内の市道復旧について。

**答** 市道軽井沢・羽広・南外線は、大内地域循環バス路線の重要路線である。現地調査で、上部からの二次崩落の恐れがあり暫定での開通を見送った。

今後は、公共土木施設災害復旧工事着手に向け調査測量を実施する。



市道軽井沢・羽広・南外線被災状況



質問項目

1. 7月豪雨災害の復旧見直しについて
2. 本荘市街地における道路の整備及び課題解決について
3. 障がい者生活支援及び障がい者雇用の充実を



市民ニーズへの的確な対応を!

伊藤 岩夫  
(会派 公明党)

◆災害復旧の迅速な対応を

**問** 農家などが市単独災害復旧事業の補助事業を申し込むにあたって、事業量・復旧費の算出など提出書類の作成の対応は。

**答** 市単独災害復旧事業の申請などの手続については、農家の方々が、スムーズに事務手続きができるよう、本庁・総合支所において、万全な体制で対処していく。

◆本荘市街地道路の安全確保を急げ!

**問** 本荘市街地の課題となっている路線について、早急に検討整備すべき。

**答** 市道石脇通線の交通緩和策と通学路確保については、マスタープランを策定し、平成30年度には、都市計画道路網の見直しを行っていく。

市道鶴沼薬師堂線の歩道整備及び道路拡幅については、総合計画「新創造ビジョン」の後期計画に組み入れて実施していく。

国道105号砂子下から国道7号石脇田頭区間の渋滞緩和策については、由利本荘警察署および国道管理者へ、引き続き要望していく。



市街地道路の安全確保を

◆障がい者生活支援および障がい者雇用の充実を

**問** 公共施設における、積極的な障がい者の雇用の機会や場所の提供により、障がい福祉の充実を図るべき。

**答** 法定雇用率の引き上げに伴い、来年度の市役所職員の採用において、新たに障がい者を対象とした採用枠を設けている。また、新たな公共施設については指定管理受託者に対し、障がい者個々の特性に応じた就業機会の確保をお願いしていく。

質問項目

1. 市営住宅の維持管理について
2. 公文書の送付にかかる経費について
3. 建設業許可取り消し処分に関連して
4. 水林球場の効率的運用について
5. ケーブルテレビの運営管理について
6. 学校教育に関連して
7. 由利本荘市職員に関連して
8. 全国レガッタに関して
9. 公共新聞の公平な閲覧に関して
10. 市内道路標示・案内板に関して



ケーブルテレビの運営管理について

佐藤 勇  
(会派 市民創風)

◆ケーブルテレビの費用対効果は

**問** 35.5%台の低加入率の現状に関し、費用対効果についての所見と加入率が上がらない原因は何か。

**答** ケーブルテレビの設備は、平成17年度から順次整備され、全域視聴可能となった25年までの事業費は、96億6000万円である。

昨年実施のアンケート調査結果では、自宅に居ながら各地域の話題や行政情報が視聴できるなどの好評も得ている。

また、防災面でも重要な情報伝達媒体として、一定の効果があったものと考えている。加入率については、毎年少しずつ増加してはいるが、本荘地域中心部の加

入率が10.5%と低く、これは、テレビの電波状況やインターネットの接続環境が整っていることが原因の1つと考えている。

そのため、各種イベントでのPRに加え、今年度、新たに「由利組合総合病院ホール」において、1週間分の番組を放映し、加入促進に努めているところである。

今後も様々な機会を捉え、広く魅力を知らしめ加入率向上を図っていく。





### 人口減少に歯止めがかかっているか!

三浦秀雄  
(会派 高志会)

◆人口減少対策は、移住と若者の地元定着の施策だ

**問** 人口減少は、地域力の低下を招き若い人に負担をかける。人口減少に歯止めをかけるには、移住対策や若い人を地元で定着させる定住対策が必要だが、その状況と対策は。

**答** 平成27年度国勢調査では、高齢者一人を1.7人の生産年齢人口が支えており、平成32年には1.4人で支えることになる。

移住の最重要課題を「働く場の確保」と捉え、地域と移住を結びつける取り組みや、若い人の地元就職への対策と、大卒者へのUターンの促進に努める。

◆活力ある中心市街地のまちづくりを

**問** 区画整理など街路整備した通りはどれも活力を失っており、「停車場栄町線街路整備事業」も

質問項目
1. 人口減少に歯止めがかかっているか
2. ふるさと応援大使の活動状況と効果について
3. 由利本荘総合防災公園「由利本荘アリーナ」について
4. 鳥海ダムについて
5. 中心市街地のまちづくりについて
6. 災害対応について
7. 家庭ごみの処理対策について

心配だ。この事業に、市はどう関わり、どのような対応をしているか。また、商店が営業を継続するか否かの状況は。

**答** 地元町内会で構成した「大門・本町通りまちづくり協議会」を立ち上げ事業の推進を図ってきた。

また、「元気な商業地と良好な住環境が共存する街」を目標に、ルールを定めて景観形成に努めている。商店街の形成については、今後の動向について調査を行う。



街路整備を待つ現在の本町通り



### 速やかな計画見直しと不安解消を

佐藤賢一  
(会派 高志会)

◆国土利用計画について

**問** 都市計画の見直しの進捗状況について。

**答** 土地利用と交通施策には密接な関係があり、一体的な検討を行うため、平成27年度より3カ年の事業として「都市計画体系調査」を実施し、今年度が最終年度となっている。

今年度末には、都市計画道路網の基礎となる「都市交通マスタープラン」を策定する。

平成30年度には、都市計画道路網と併せて用途地域の見直しを目指す。

◆農業振興について

**問** 水稲(米)の平成30年産以降の需給調整にどうかわっていくのか。

質問項目
1. 国土利用計画について
2. 農業振興について
3. 本荘由利圏域の医師確保対策について
4. 職員の働き方改革の議論はされているのか
5. 政治や選挙に関心のある若い人をどう育てていくのか
6. 災害時の職員の行動マニュアルは
7. 水道、ガス老朽管の更新計画について
8. 旧水林ガス供給施設解体撤去計画の進捗状況について

**答** 「需給調整」は国の方針に基づき、市では地域農業再生協議会の構成員として、農協や集荷業者などと引き続き参画し、主導的な立場で関わることを明言してきた。平成30年産米取り組み状況については、協議会の幹事会で、作付計画の基準となる「生産の目安の査定に関する基本方針」を確認している。

基本方針では、国から農業者まで、一方通行であった「生産数量目標の配分」とは異なり農協や集荷業者段階で、自らの販売力に応じて「生産の目安」を調整できるようにした。協議会では、農家不安の軽減を図るため、年内に農家ごとの「生産の目安」を示す準備をする。

## 市議会議員政治倫理審査会

# 審査報告

由利本荘市議会議員政治倫理審査会の審査請求第7号における審査結果について、以下のとおり報告します。

市長より、由利本荘市議会議員政治倫理条例(以下、「条例」という。)第11条第7項及び第8項の規定に基づき、渡部専一議員の関係私企業が平成28年4月1日から平成29年3月31日までの期間において、総額が10万円を超える請負単価契約があったことから、平成29年4月17日付け、由本総第26号をもって、条例施行規則(以下、「規則」という。)第5条第1項の規定により議長へ報告され、議長は、規則第5条第2項の規定により平成29年2月2日開催(6月)本会議(初日・平成29年5月15日)において報告したものであります。

この報告により、条例第6条に抵触の疑いがあるものとして、伊藤順男議員、佐藤賢一議員、三浦秀雄議員、土田与七郎議員、及び、渡部聖一議員は連署をもって、条例第8条第2項の規定に基づき、議長に平成29年5月15日付けで審査請求書を提出したものであります。

その後、審査請求書の記載事項の補正命令を経て、平成29年5月29日付けで補正され、これを受け、平成29年5月31日付けで、議長から議会議員政治倫理審査会に審査付託されたものであります。

初回の審査会は、平成29年6月9日に開催され、審査請求の適否及び審査請求の内容について確認し、次回の審査は、審査請求対象議員の弁明の機会を設けることとしたものであります。

第2回の審査会は、平成29年6月23日に開催され、審査請求対象議員である渡部専一議員より、この審査請求についての発言があった後、質疑応答を行ったものであり、発言等はまとめ表のとおりであります。

第3回の審査会は、平成29年7月4日に開催され、審査のまとめを行い、次回の審査で報告書を作成することとしたものであります。

これら審査を通じ、審査請求の適否及び政治倫理基準の違反行為の有無について慎重に審査を行い、関係議員の条例上の疑義及び政治倫理的認識、努力義務の履行などを判断し、政治倫理条例の抵触等、勧告の有無について、次のとおりの審査結果としました。

### 【審査結果】

審査会として、請負契約等の遵守事項については、全会一致で「認められない」となったものであり、政治倫理上の認識については、「認められる」、又は、「判断できない」とした委員もおりましたが、「認められない」という委員が過半数であり、また、努力義務の履行については、全会一致で「認められない」となったものであります。

総合的判断は、政治倫理上の認識及び努力義務の履行に関する審査結果を踏まえ、全会一致で政治倫理条例に「抵触する」となりました。

条例第9条第2項及び同施行規則第15条に基づく勧告については、「注意勧告」とした委員もおりましたが、「一定期間の出席自粛」とした委員が過半数であり、「一定期間の出席自粛」勧告としたものであります。

以上のことから、渡部専一議員においては、条例の遵守事項を遵守し、高潔性を明らかにするとともに、市民の信頼を受けて活動する市議会議員として行動することを自覚し、さらに市議会のもとで名誉と品位を守り、市民の信頼を回復する措置を講じることを要望し報告とします。

### 審査結果に対する渡部専一議員の弁明書

由利本荘市議会議員政治倫理条例第11条第1項の規定に基づき、審査結果に対して下記のとおり弁明します。

政治倫理条例第5条に定める関係私企業の届け出義務として、私が届け出ております(有)たんぼぼプラザが、市と単価契約を交わした業務につきまして、同条例第6条1項に規定されております、「議員は契約の締結を辞退させるように努めなければならない。」としたことへの対応が不十分だったとし、政治倫理審査会委員長より勧告がなされました。

この契約の、要介護・要支援認定調査業務と介護予防支援業務は、平成18年に国の事業から市町村事業に移行されたことにより、県の指定する事業所がサービス業務を行うには、市との契約が必要となったものであります。

介護保険サービスは、法令により、「指定居宅サービス事業者は正当な理由なくサービスの提供を拒んではならない」とする提供拒否の禁止規定が設けられており、また、事業者は地域との結びつきを重視し、市町村との連携に努めなければならない」ともされております。

特に、介護予防支援業務は、利用者の選択が基本であり、指定事業所が地域の利用者の依頼や要望に応えられないこともなれば、そのサービスを受けようとする利用者の負担につながることも考えられるものであります。

人口減少や少子高齢化が国の大きな課題となるなかで、福祉や介護、子育てや教育、医療などの公益性のあるものについては、現在の社会情勢に照らし合わせたときに、「審査の段階で考慮される部分もあるのではないか。」との思いもあり、委員会審査に出席の際も、このようなことを申し上げてきた経緯もありますので、ご理解をいただきたいと存じます。

また、条例(勧告)への対応についてであります。要介護・要支援認定調査業務は、8月1日付けで契約解除が行われたことを確認したところであります。

なお、介護予防支援業務につきましては、利用者本人のプライバシーに関わるものもあり、サービスを受ける利用者や家族の理解と同意が必要ことから、「契約の解除には一定の時間を要する。」とのことであります。引き続き解消に努める考えでありますので、併せてご理解をいただきたいものと存じます。

### 豪雨災害の対策と教訓・危機管理体制は

佐々木 隆一  
(会派 日本共産党)

◆今後の対策と教訓は

**問** 近年異常な豪雨やかつてない動きの台風がきている。従来の経験や発想にとらわれず台風や水害への備えを再点検し対策を強めることが必要である。

7月22~23日にかけての豪雨で芋川などが氾濫、家屋の浸水、道路や農地などに被害が広がった。

市は国や県に芋川などの改修の早期完成を要望しているが今回の災害の検証・対策、教訓は。

**答** 芋川の改修は、市長と議長が県庁を訪問し、国道105号の復旧などを要望した。国へも早期完成を要望していく。今回の経験を教訓に、早めの避難情報の発令に努めていく。

**問** 佐竹知事は記録的豪雨の中ゴルフに興じ飲酒、宿泊した。23日は災害連絡会議を開くよう指示しながら渋滞で欠席し、虚偽説明までした。県の危機

質問項目
1. 民生委員制度発足100年・現状と今後の課題は
2. 豪雨災害について
3. 2018年度の社会保障について
4. 障がい者雇用率引き上げに伴う対応は
5. 核兵器のない世界へ向けて

管理意識の乏しさを改めて露呈したが、本市の危機管理体制は。

**答** 地域防災計画で定められた基準にしたがって設置し応急活動を実施した。今後も危機感をもって陣頭指揮を執っていく。

◆民生委員制度の現状と課題は

**問** 地域の困り事に対応する民生委員の制度ができて100年経過した。業務の内容が複雑化し、全国的にもなり手不足が課題である。民生委員活動の現状と今後の課題は。

**答** 市民への制度周知や民生委員の定例会などで、地区の状況を把握し、民生委員の担い手確保と活動環境の整備に努めていく。

